

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高丘の中心で環境を叫ぶ！TAKAOKA市場2022		
事業主体 (連絡先)	高丘ゆるゴミ拾い部 中野市草間 1145-1		
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	715,212	円 (うち支援金 :	479,000 円)

事業内容

高丘地区はインターチェンジがあり、高速道路周辺にゴミが大変多い。コロナ禍において地域住民交流の機会が極端に薄れている。こうした問題から、地域住民の世代間交流の場を設けて楽しみながら環境問題への啓発活動を行った。

イベント名：高丘の中心で環境を叫ぶ！TAKAOKA市場2022
開催日時：令和4年9月25日(日)

参加者人数：延べ600人

【イベント内容】①ゼロ円マルシェ②マーブルクレヨン大作戦③環境ワークショップ④こども縁日(おかしすくい、射的、もぐらたたき等)⑤ステージ発表7ツカガンス、倍増戦士ぜ、高丘地区のお母さん(たかおかん)⑥明るい未来100人ゴミ拾い行進



【ゴミ拾いの様子】

【目標・ねらい】

- ①清掃活動と環境問題へ啓発
- ②地域住民の世代間交流

※自己評価【 B 】

【理由】

環境を重視したイベントなので無駄を省きゴミを出さないよう工夫した。出店者にプラを減らすよう依頼し、木のスプーンや紙皿などの代替品で対応してもらった。縁日の景品袋は新聞紙で作りレジ袋の使用を極力減らした。

事業効果

- ①来場者、出演者出店者、スタッフより総勢80名弱でのゴミ拾い行進を実施。参加者には「自分が望む地球と明るい未来」をプラカードに書いてもらって行進するなど、環境問題への意識付けができた。特に小・中学生の若い世代にSDGsを実際に経験して、地域に落ちているゴミの多さを知ってもらうことが出来た。
- ②こども縁日を実施。店員は地域の子供たちと老人クラブのお年寄りに依頼し、普段交流のない子供とお年寄りが一緒に工作体験や縁日運営などを協力して行い、新しいつながりが広がり賑わいを生み出す場となった。中野市ご当地ヒーローの倍増戦士ロゼショーでは、環境問題をテーマとした内容で、老若男女を通してゴミ拾いアプリ「ピリカを分かりやすく知ってもらおうきっかけとなった。ゴミ拾い行進実施後には、会場内の若者が早速ピリカを使用している姿が目立つようになり成果を得られた。
- ③Instagramにおけるマーブルクレヨン紹介動画の7月の再生数が2万超で、9/30現在の再生数が22,000回で増加となった。

今後の取り組み

- ・活動を継続させるために、引き続きメンバーの地域の母親が子供と一緒に、毎週末に高丘地区のゴミ拾いを行い環境美化活動とSDGs啓発活動を実施する。
- ・一過性の賑やかではなく環境問題への取組を継続していくための工夫が必要。
- ・イベントでできた世代間の交流をさらに深め、活性化につながるような定期活動を検討。
- ・10/9には中野市で主催するイベントで、ご当地ラジオ体操&ゴミ拾いウォーキングde健康づくり、綿半スーパーセンター中野店駐車場で、ご当地Vチューバー信州なかのちゃんと高丘地区のお母さん(たかおかん)がラジオ体操とゴミ拾いを実施する。
- ・引き続き世代間交流を図り、環境問題に取り組む。